

# 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 2025 年度(令和 7 年)事業計画

## 総括

### 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 会長 増田 詩織

本会の会員は、医療施設で勤務する臨床検査技師が多く、現在 4,200 名を超える会員数となりました。新型コロナウイルス感染の社会活動の制限が緩まり、本会の事業もコロナ以前の活動状況に向け再開されています。しかし、会員が所属する多くの医療施設は、診療ならびに経営面で厳しい状況が続いています。本会は今後の高齢化・少子化・人口減少社会において、臨床検査の品質と精度を維持できるように、会員の卒後教育と施設への情報提供、府民への健康推進活動を行って参ります。

2021 年度から Web を使用したオンラインによる会議やセミナーや講演会の開催が行われ定着しました。また理事会や事務局・事業局の部会会議は Web 会議システムを併用して情報の共有を行っていましたが、対面形式の事業開催に戻して、例年通り企画された講演会等を開催することができました。また他団体との共催で対面形式の開催が主となる府民参加型の講習会や新年互礼会も、十分に感染拡大防止に対処しながら開催できました。

2024 年度は、本会が担当で 11 月に令和 6 年度日臨技近畿支部医学検査学会(第 63 回)を現地開催しました。多くの参加者の期待に添える大阪らしい特色を出せる学会を開催しました。公益事業として府民を対象とする渉外部担当の府民公開講座や各種フォーラム(他団体との共催を含む)、各種疾患予防啓発活動、がん検診啓発活動、さらに地域に貢献するため各自治体の健康展への参加を推進しました。

2025 年度は、生涯教育を通して府民の健康に寄与する公益事業である學術部の各種研修会、チーム医療推進事業、精度管理部のデータ標準化事業も引き続き推進し、会員の求めるニーズに対応いたします。組織部が担当する地域ニューリーダー育成講習会など組織力向上のための事業や地区関連事業を開催します。新年互礼会(2026 年)で行政や関連団体と当会の緊密な連携を築き、地域医療推進協議会関連団体と協力し大阪府民の健康に寄与します。2021 年度から開催しているタスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会の開催も 2025 年度は2か月に1回のペースで開催する予定です。

2024 年度(令和 6 年)第 12 回(2月)理事会および第 13 回(3月)理事会で承認された 2025 年度(令和 7 年度)事業計画・収支予算をご報告いたします。

## ■ 事業分類

### 公1事業(公1)

府民に対して健康に関係する体験学習、公開講座等を開催し、府民が健康に関する知識を習得することにより公衆衛生の向上に寄与する事業

### 公2事業(公2)

臨床検査の学術研究及び研修会等を開催することにより医療技術者の資質向上に寄与する事業

### 公3事業(公3)

臨床検査の精度管理・データ標準化を目的とする指導事業

### 他1事業(他1)

会員の相互扶助等事業

## I 基本計画

公益法人としての事業を積極的に進める

1. 府民を対象にした府民の健康増進に寄与する公開講座やイベント事業の推進(公1)  
府民健康フォーラム、大臨技・大放技合同フォーラム、看護の日、市民健康展、  
がん検診啓発活動、その他の公益事業を行う
2. チーム医療の推進に貢献できる事業の開催(公2)  
栄養サポート、院内感染防止、糖尿病療養指導、その他、多職種がチームで医療を行う公益  
事業を行う
3. 臨床検査技師の知識・技術の向上を目指す専門的な研修会の開催(公2、他1)  
新人技師、中堅技師、管理職技師に役に立つ研修や情報の提供を行い、学術技能の研鑽  
をする事業を行う
4. 精度保証事業(データ標準化を含む)の推進(公3)  
日臨技とタイアップして大阪府下の検査施設の精度保証事業を進める
5. 臨床検査技師による臨床検査の説明・相談ができる環境を支援する(公2)
6. 卒前教育と卒後教育の橋渡しの事業(公2)  
教育機関の教員の方々と連携して大臨技教育フォーラム等の事業を行う

## II 事務局

1. 総務庶務部
  - 1) 組織運営の充実(他1、法人管理)
    - (1) 定款、諸規程等の管理
    - (2) 総会、理事会および各種委員会の開催
    - (3) 各種表彰の充実
    - (4) 各教育機関との連携
  - 2) 事務体制の強化(他1、法人管理)
    - (1) 会員管理システムの充実
    - (2) 大臨技会員証の管理
    - (3) 大臨技登録学生の管理
    - (4) 大阪府への各種報告
  - 3) 府民ならびに関連団体との交流の推進
    - (1) 府民への情報公開(他1、法人管理)
    - (2) 他団体との情報共有(公1～3、法人管理)
    - (3) 大阪府地域医療推進協議会への参画(他1、法人管理)
    - (4) 新年互礼会の開催および運営(他1)
2. 広報編集部
  - 1) 会員への広報の充実(他1)
    - (1) 大臨技ニュースの発行
    - (2) 大臨技ホームページの更新
    - (3) 月間行事予定表の作成
    - (4) 大臨技行事スケジュールラーの管理
    - (5) 総会議決権行使サイトの運用開始と管理

### Ⅲ 財務局

#### 1. 財務管理の充実(他1、法人管理)

### Ⅳ 事業局

#### 1. 学術部

- 1) 公益事業としての部門別研修会・講演会の開催、これらの事業を円滑に開催するための部会会議を開催(公1～3)
- 2) 他の事業部の企画への協力(公1～3)
- 3) 他団体(大阪府診療放射線技師会、大阪府薬剤師会、大阪府栄養士会、大阪府看護協会等)との学術交流活動への協力(企画への参加、講師 推薦)(公1)
- 4) 学会の企画および運営(公2)
  - (1) 第8回大臨技医学検査学会の開催

#### 2. 組織部

- 1) 地域ニューリーダー育成講習会(公2)
- 2) オープンセミナーの開催(中央地区)(公2)
- 3) 新入会員研修会(他1)

新入会員および未入会者を対象に、技師会活動や臨床検査技師としての理解を深めるための研修会
- 4) 大臨技教育セミナー(府下教育機関と共同事業)を開催(公2)
- 5) 各市健康展・健康まつり(吹田市・摂津市・富田林市・羽曳野市)への参加(公1)

#### 3. 渉外部

- 1) 府民参加型健康啓発事業の開催(公1)
  - (1) 他団体との共催事業:講演会の開催
    - ①大臨技・大放技合同フォーラム  
公益社団法人 大阪府診療放射線技師会との共催
    - ②府民健康フォーラム  
一般社団法人 大阪府薬剤師会、公益社団法人 大阪府栄養士会との3団体共催
  - (2) 他団体事業への参加
    - ①看護の日イベント  
看護の日～ハートフル大阪21～実行委員会主催「看護の日・看護週間」事業に参加し、チーム医療で関わる臨床検査技師と臨床検査について紹介する
    - ②リレー・フォー・ライフ・ジャパン大阪あさひ  
公益財団法人 日本対がん協会主催事業で、がん患者支援活動を通して臨床検査技師の役割を紹介する
  - (3) 啓発活動
    - ①大臨技がんフォーラム:「がん」に関する講演会の開催
    - ②疾患予防セミナー:特定の疾患についての講演会を開催
  - (4) 全国「検査と健康展」(一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会主催)への参加
- 2) ろう者に対する理解と協力(公2)

手話講習会を開催し、ろう者に対する理解を深め、コミュニケーションに必要な手話を学ぶ

### 3) 献血推進への協力(他1)

輸血用血液製剤の確保が困難な夏季と冬季に、府民の皆さんに献血への協力の呼びかけを行う

## 4. 精度管理部

### 1) 臨床検査データ標準化サーベイ(公3)

新鮮血を試料としたサーベイを実施することにより、施設間差是正を推進するとともに、精度保証に役立つ。

### 2) 精度管理、基本統計に関する研修会(公2)

精度管理、統計学的手法に関する正しい知識、技術を習得するための研修会の開催

## 2025年度収支予算書

2025年 4月 1日 から 2026年 3月31日まで

(公社)大阪府臨床検査技師会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,000	1,000	2,000
会費収益	25,600,000	25,200,000	400,000
事業収益	7,268,000	5,938,000	1,330,000
受取補助金等	1,000,000	250,000	750,000
雑収益	1,790,000	920,000	870,000
経常収益計	35,661,000	32,309,000	3,352,000
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	5,062,500	5,025,000	37,500
福利厚生費	900,000	847,500	52,500
旅費交通費	2,731,000	2,646,059	84,941
会議費	2,293,000	1,812,000	481,000
通信運搬費	1,402,000	1,233,726	168,274
消耗品費	1,928,000	1,255,000	673,000
印刷製本費	899,000	256,000	643,000
光熱水費	175,000	175,000	-
会場費	5,325,000	4,689,000	636,000
諸謝金	3,931,000	4,325,000	△ 394,000
広報費	409,000	882,000	△ 473,000
賃借料	3,111,000	3,255,000	△ 144,000
支払負担金	300,000	300,000	-
減価償却費	550,000	620,000	△ 70,000
支払手数料	151,000	268,000	△ 117,000
支払保険料	5,000	5,000	-
雑費	284,000	349,000	△ 65,000
管理費			
給料手当	1,687,500	1,675,000	12,500
福利厚生費	300,000	282,500	17,500
旅費交通費	343,000	322,941	20,059
会議費	465,000	592,000	△ 127,000
通信運搬費	316,000	982,274	△ 666,274
消耗品費	450,000	455,000	△ 5,000
印刷製本費	327,000	330,000	△ 3,000
光熱水費	75,000	75,000	-
会場費	70,000	50,000	20,000
諸謝金	612,000	276,000	336,000
広報費	80,000	80,000	-
賃借料	993,000	993,000	-
支払手数料	56,000	50,000	6,000
雑費	430,000	295,000	135,000
経常費用計	35,661,000	34,402,000	1,259,000
当期経常増減額	-	△ 2,093,000	2,093,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	-	-	-
(2) 経常外費用	-	-	-
当期経常外増減額	-	-	-
当期一般正味財産増減額	-	△ 2,093,000	2,093,000
一般正味財産期首残高	30,870,225	33,319,166	△ 2,448,941
一般正味財産期末残高	30,870,225	31,226,166	△ 355,941
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	-	-	-
指定正味財産期末残高	-	-	-
III 正味財産期末残高	30,870,225	31,226,166	△ 355,941

